

事務事業名		新型インフルエンザ等対策事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)							
政策体系	基本目標	2	やさしくふれあいのある健康福祉づくり			担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課					
	政策	1	健康で安心して暮らせるまちづくり			担当係	成人保健係	担当課長名	片柳利幸						
	施策	1	心と体の健康づくりの推進			新規事業・継続事業		継続事業							
	基本事業	1	健康づくりの推進			実施計画事業・一般事業		一般事業							
予算科目	短縮コード	7146	会計	一般	款	4	項	1	目	2	予算細事業名	新型インフルエンザ等対策事業	事業区分	市単独事業・国県補助事業	市単独事業
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H20年度～	年度		根拠法令 条例等	新型インフルエンザ等対策 特別措置法		事業区分	任意的事業・義務的事业	義務的事业	実施方法	直営	
													事業区分	事業分類	その他市民に対する事業
													事業区分	リーディングプロジェクト	該当なし
													事業区分	市長マニフェスト	1-5

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
新型インフルエンザ等の発生による健康被害とそれに伴う社会的影響を想定した行動計画に基づいて、対策を整備するとともに、医療及び行政機関が行う業務継続の維持を確保するため、発生前に防護服等を購入備蓄する。 平成24年5月に新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、市町村においても、条例の制定、行動計画の策定が義務付けられた。		新型インフルエンザ等対策ガイドラインに基づき、庁内における役割分担等の確認を行った。 佐野市新型インフルエンザ等対策委員会及び幹事会を開催した。 また、業務継続計画に基づき、防護服セットを購入した。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
防護服購入数		セット	0	1,650	1,650	1,650	1,650

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

業務継続従事職員数		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
		業務継続従事職員数	人	201	394	394	394	394
		防護服が必要な職員数	人	201	235	235	235	235

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
新型インフルエンザ診療に従事する医療関係者並びに業務を継続する市職員等を感染から守る。		各業務従事者に対する防護服の備蓄率		%	12.1	22.9	37.2	49.7	62.0

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

市民が、健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合(市政に関するアンケート)	%	73.8	75.8	73.6	77.8	78.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	4,633	3,514	5,346	5,346	
	事業費計(A)	千円	0	4,633	3,514	5,346	5,346	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	4,633	需用費	3,514	需用費	5,346
	人件費	千円	623	631	623	623	623	
トータルコスト(A)+(B)	千円	623	5,264	4,137	5,969	5,969		

事務事業名	新型インフルエンザ等対策事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	成人保健係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度に鳥インフルエンザが発生し、健康危機管理に関わる重要な課題として、安全を確保するため事業が開始された。平成24年5月新型インフルエンザ等対策特別措置法制定により、市の役割が明文化され、市行動計画策定が義務付けられた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成21～22年に流行したインフルエンザ2009(H1N1)以降、国内における新型インフルエンザの発生は確認されていない。平成24年度には市の行動計画の見直しを予定していたが、平成24年5月に新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、改めて市町村行動計画の策定並びに市町村対策本部に関する条例の制定が義務付けられた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	予算を確保し、防護服を年次計画で備蓄している。
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市として市民に対し行うべき新型インフルエンザ等対策の一つとして、医療従事者並びに業務継続従事市職員の安全を確保することは、「感染拡大防止」「重症化予防」などを実施するために必要であり、政策体系の健康で安心して暮らせるまちづくりの推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民の健康被害を守るのは市の責務であり、その業務に従事する医療従事者や市職員を感染から守るのも、市の責務と考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	医療従事者並びに市職員等が、担当業務を遂行するのに、感染から身を守ることが結果的に市民の健康を守ることに繋がるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	防護服等を装備するなど予防措置であり、改善の余地がない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	使用した防護服はウイルスが付着しているため、一度使用したものは破棄しなければならず、1人当たり何着も用意する必要があるが、現在の備蓄分では全く足りない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市民の健康被害を守るのは市の責務であり、その業務に従事する医療従事者や市職員を感染から守るための事業であるため、受益者負担を求めるのは適当ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 強毒性の新型インフルエンザや新たな感染症等の発生の恐れが無くなれば、この事業は終了する。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
			コスト																							
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										